

「神大フェスタを終えて」

経済学科3年 宮川 亮

私は経済学部ですが、臨床心理に興味を持ち、友達の紹介ということもありまして成井先生のゼミに所属させてもらっています。その関係で今年からオープンキャンパスや神大フェスタにゼミの一員として参加しました。まだ心理の世界に触れて間もないですが、それでもいろいろな方々の箱庭を拝見し、自分なりに考え解釈することは大変勉強になったと思います。

ただ、解釈といっても自分の心の中で考えるだけで、決してお伝えすることはありません。体験者にはぜひありのままの箱庭を楽しんで作っていただけたらと思います。

今回、箱庭を作っていた方の中で、最も印象に残っているのは、お母さんと来ていた5歳ぐらいの男の子でした。その男の子は、最初落ち着きがなくずっと歩き回って

たのですが、箱庭を作り始めるとあたかも最初から置く物が決まっていたかのように、おもちゃを選び出し、トントんとテンポ良く置いていきました。みるみるうちに独特の世界観を持つ箱庭ができて上がりました。山や海、動物たちが雄大な自然を想像させ、エネルギー溢れる作品でした。小さい子供の作る箱庭を実際に見るのは初めてだったので、新鮮でこちらも元気をもらいました。やはり子供は想像力、発想力が豊かだなど改めて感じました。

もちろん、他にも小さい子供からお年寄りまでの幅広い年齢層と、地域または遠方からお越しの方、本当に多くの方々が参加してくださいました。改めて神大フェスタ、並びに神奈川大学は、多くの色々な方々のご協力があつて支えられ、成り立っているのだと感じ

ました。最後に参加して下さったすべての方に御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

「神大フェスタを終えて」

人間科学科3年 山村 佳那

私は、大学1年生の頃からイリユージュンライブのスタッフをやっているため、オープンキャンパスと神大フェスタでのゼミの活動になかなか参加することができませんでした。昨年度、

神大フェスタの終了後、ゼミにて各イベントの反省会各イベントを行いました。その時、高校生や地域の方の箱庭の様子をゼミ生から聞き、「私も色んな人の箱庭が見たい！」という気持ちになりました。そして、ようやく今年度の神大フェスタ2日目（2009年11月1日）に成井ゼミの箱庭スタッフとして参加することができました。

神大フェスタはオープンキャンパスと大きく異なり、たくさんの方々が参加します。そのため、子どもからお年寄りまでたくさんの方の世代の箱庭と出会い、想像力、発想力の違いを直接肌で感じることができました。特に小学校

低学年の子どもが作る箱庭は、可愛らしく、エネルギーが溢れる作品ばかりで、見ているだけなのに私自身の心が癒され、元気をもらいました。

また、外国人の方も箱庭を作りに来ていました。日本人とは異なる独特な発想を持っていたため、とても魅力的に感じ、外国人の考え方や価値観の違いを改めて実感しました。

そして今回一番強く印象に残ったことは、授業で箱庭を学んだ人間科学部の在学生が多く訪れたことです。あまり深く箱庭に関する専門知識を学習していないものの、臨床心理学に興味を持つ学生ばかりだったため、ただ作って楽しむだけではなく、「これはどういう意味を表しているのですか?」「私の精神状態は大丈夫でしょうか?」と箱庭の意味（解釈）を聞かれることが多々ありました。しかし私は解釈をす

るのではなく、箱庭に置かれている動物や建物について、「可愛いですね」「素敵なお家ですね」など自分が感じた感想を答えました。たくさんの方に箱庭という心理療法を知ってもらうために、箱庭を作ることによって楽しみ、心を癒してもらうことが目的であり、決して短い時間で解釈を行い、その人の深層心理まで読み取るものではないからです。

中には、ぜひとも成井先生に解釈してもらいたいと要望を持ち、箱庭を作りに来た学生もいました。ゼミ生以外にたくさんの方の人間科学部の学生が箱庭にとっても興味を持っていたことに驚きと同時に嬉しさを感じました。

この経験は大変貴重なものとなりました。来年はぜひ高校生を中心に訪れるオープンキャンパスでのイベントに参加し、思春期である多くの学生の箱庭が見たいです。